

■市民意見募集の方法について

ご意見は、郵送、持参、FAXまたはEメールで下記までお寄せください。なお、郵送される場合には、下記の印刷されているはがきを、切り取ってご活用ください。

【市民意見募集期間】
平成19年11月13日(火)～11月27日(火)

【ご持参・FAXされる場合】

■戸塚区役所区政推進課
戸塚区戸塚町157-3 戸塚区役所4階
TEL866-8328、FAX 862-3054
(URL: <http://www.city.yokohama.jp/me/totsuka/kusei/tokaidokento.html>)

または、
■戸塚中央区画整理事務所
戸塚区矢部町135-3
TEL866-2470、FAX 866-2550
(URL: <http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/dcond/tochu/>)

【Eメール】
to-bunka@city.yokohama.jp

【ご郵送される場合】
↓以下のはがきを切り取ってご活用ください。切手は不要です。

〒-

戸塚支店承認
1156

差出有効期限
平成19年12月31日まで

横浜市戸塚区矢部町135番地3
横浜市 都市整備局
戸塚中央区画整理事務所 行き

■あなたのお住まいをお伺いします。(該当に○)

矢部町 吉田町 戸塚町 上倉田町
その他の戸塚区内 戸塚区以外の横浜市内
横浜市以外の市町村

■あなたの年齢をお伺いします。(該当に○)

～9歳 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代～

■戸塚駅周辺地区における旧東海道みちづくり検討委員会の流れ

8月31日 第1回検討委員会

- 委員会の趣旨、事業概要説明等
- 旧東海道みちづくりの事例について
- 意見交換



9月8日 第2回検討委員会
(構成団体の会員も参加した拡大委員会)

- 東海道戸塚宿の歴史とみちづくりについて
- 講演「東海道戸塚宿の歴史」他
- まち歩き
- 戸塚区役所⇒吉田大橋
- グループ討議および発表
- 4班に分かれて旧東海道のみちづくりについて討議、成果発表



10月14日 第3回検討委員会
(構成団体の会員も参加した拡大委員会)

- グループ討議および発表
- まちの活性化、みちの使い方・手入れ等について討議、成果発表



【今回】
市民意見募集

1～3月 第4・5回検討委員会

今年度末 『旧東海道みちづくり基本計画案』とりまとめ

ご意見の提出はこちらへお願いします！！

横浜市戸塚区役所区政推進課
〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町157-3
tel 866-8328, fax 862-3054, e-mail: to-bunka@city.yokohama.jp
横浜市都市整備局戸塚中央区画整理事務所
〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町135-3
tel 866-2470, fax 866-2550

※「戸塚駅周辺整備デザイン」の考え方(素案)についての市民意見募集
戸塚駅周辺では、さらなる魅力アップに向け、あわせて戸塚駅周辺整備デザインの考え方(素案)についての意見募集を行っています。詳しくは戸塚区役所、戸塚駅周辺再開発事務所等で配布する意見募集パンフレットをご覧ください。
事務局：戸塚駅周辺再開発事務所 TEL: 045-864-2621

戸塚駅周辺のさらなる魅力アップに向け、皆さまのご意見をお寄せください。

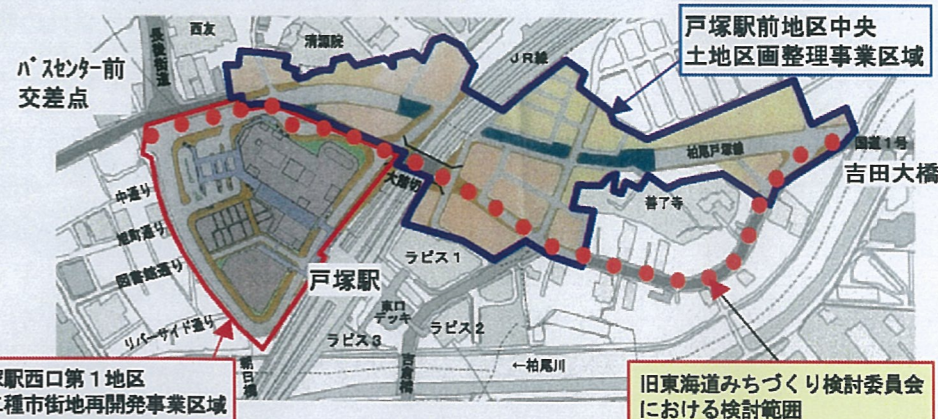


戸塚駅周辺地区における旧東海道のみちづくりについて 市民意見募集

市民意見募集期間：平成19年11月13日(火)～11月27日(火)

■旧東海道のみちづくりの検討経緯

戸塚駅周辺地区は、再開発事業や区画整理事業等の実施に伴い、大きく変貌をとげようとしています。それらの事業により再整備を行う旧東海道(国道1号)は、戸塚宿として栄えた戸塚の最も大切な地域資源であり、再整備を契機に魅力的なまちづくりの推進とまちの活性化につなげていきたいと考えています。そこで、地元活動団体、有識者等からなる『戸塚駅周辺地区における旧東海道みちづくり検討委員会(委員長：山路清貴/早稲田大学講師)』を設置し、旧東海道を含む“みち空間”の再整備計画、完成後の活用等について検討を行うこととしました。現在まで3回の検討委員会を開催し、いただいたご意見の中間とりまとめを行いました。基本計画案のとりまとめに向けて、市民の皆様のご意見を募集いたしますので、よろしくお願いたします。



横浜市戸塚区役所区政推進課
横浜市都市整備局戸塚中央区画整理事務所

1. 旧東海道 の歴史を活かすなど 個性あるみちづくり

- ・緑化や案内板の設置などにより歴史資源を活かしたみちづくりを行う。
- ・旧東海道を感じさせるみち空間を考える。
- ・宿場まちの雰囲気配慮したみちづくりを行う。
- ・新しい東海道らしさを創出する。

2. 歩行者 にやさしい みちづくり

- ・安全にゆっくり歩けるみちとする。
- ・バリアフリーのまちづくり。
- ・休憩スペースなど息抜きできる場所を設ける。
- ・並木を配して木陰のあるみちとする。
- ・まち全体の回遊性を高めよう。

3. 環境 に配慮した みちづくり

- ・透水性のある舗装を採用する。
- ・太陽光発電の街路灯などCO₂削減を考える。
- ・壁面や歩道の緑化を行う。
- ・柏尾川との連携を意識したみちづくりを行う。

4. まちの 活動 が生まれる みちづくり

- ・様々な催しやイベントにより地域を活性化する。
- ・特色ある植栽を行い地元の管理を考える。
- ・まちなかに人が集まれる場所・スペースを設け、地域を活性化する。
- ・人が呼べる、入りたくなるお店・商店街があると良い。

・緑化などアンダーパス道路横の壁面の仕上げを工夫する。

・再開発ビルの沿道空間を賑やかに設える。
・再開発ビルを核に沿道が活かせるまちづくりを行う。

・シンボリックなデザインのデッキを整備し、東西や駅の連携を強化する。
・デッキのデザインは、“渡ってみたい”と思えるようにする。
・旧東海道をイメージできるなど特色あるデザインとする
・デッキ上は通行以外の機能も大切に、ゆとりある空間としたい。

・歩行者動線の工夫や魅力的なお店の集積により賑やかさを創出する。
・魅力ある商店街づくりなどにより賑やかさを創出する。

・再開発区域とは異なる沿道の魅力を創出する。

▲サイン、ベンチなど宿場の玄関口のイメージ
・宿場の玄関口として特徴のある整備を行う。

次の質問をお読みいただき、平成19年11月27日(火)までにこのはがきでご回答ください。

問1
今回示されている1.~4.の整備の方向性について、どのように考えますか？

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 良い | 2. どちらかといえば良い |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば悪い |
| 5. 悪い | |

問2
旧東海道のみちづくりの計画やみちの活用などについて、ご意見ををお願いします。

▲再開発ビル沿道空間の賑わいイメージ

▲大踏切デッキ上での活動にぎわいのイメージ

▲みち空間いっぱいを使ったにぎわいのイメージ

▲沿道と一体となったゆったりとした歩道空間のイメージ

※スケッチは、検討委員会意見のイメージを表現したものであり、この通りに整備が行われるものではありません。

0 10 50 100 200 250m